

「モーシオンタイトの開発について IV」

ねじ山の荷重分担率が、通常のねじよりも均等化されるモーシオンタイトは、緩み防止力が大きく、疲労強度も向上します。特に、ねじのはめ合い長さがナットの山数に限定されてしまう通しボルト（ボルト・ナット締結）よりも、はめ合い長さが大きいねじ込みボルト（ボルト・タップ締結）の場合、圧倒的な緩み防止力を発揮します。

また、ねじ山の弾性効果により、接触面の摩擦熱を逃がすことで焼き付きを防いだり、軸力低下を生む弾性相互作用の影響を受けにくくしたりと、ボルト締結が抱えている問題に対応できる製品となっています。

その他にも軸力のバラツキを減少させる、ねじの片当たりを緩和する、などねじ山の弾性がもたらす利点は数多くあります。

そのうえで、最も強調したいことは、モーシオンタイトは、通常のねじとまったく同じ作業性を有するということです。インパクトレンチでも、ナットランナーでも、普通に締め付けるだけで作業が完了します。特別なナットやワッシャー、接着剤などを使用することなく緩み止めを完成させます。

そして、多少の締め付け誤差が生じてても簡単に緩むことがないモーシオンタイトは、生産工場におけるねじ締結管理を楽に行うことができる唯一の製品ではないかと考えています。

有限会社アートスクリー
代表取締役 松林 興